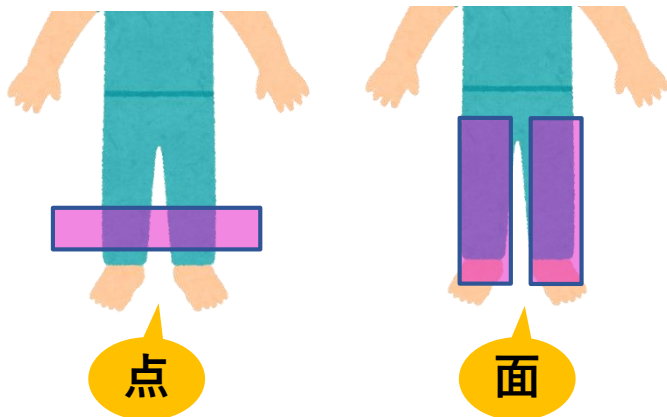


褥瘡予防のためのポジショニングとは、動けないことにより起こる様々な悪影響に対して予防策を立て、体位づけの管理を行うことです。（田中マキ子：動画で分かる褥瘡予防のためのポジショニング,中山書店,2006より一部抜粋）
患者要件・環境によって方法は異なりますが、ポジショニングを行う上の「基本」となる部分のうち3つをご紹介します。

基本① 頭部から足側へ介入する

ポジショニングは、「頭部から足側に向かって」行います。頭部はすべての動きを主導し、肩甲骨は上肢と上半身の動きを、骨盤は下肢と下半身の動きをコントロールします。そのため、頭から足に向かって身体全体の方向付けをすることで、効果的なポジショニングが行えます。

例) 枕の使い方



基本② 点ではなく面で支える

褥瘡予防と安楽の観点から「点で支えず、面で支える」ことが、ポジショニングでは重要になります。枕を点ではなく面で使用し、可能な限り接触面積が広がるような挿入方法・方向を検討することで、不快感を抱く原因となる筋緊張を緩和させ、体圧を分散させることができます。

基本③ 体軸を自然な流れにする

ポジショニングを実施する際に体軸の流れを考慮することが重要なのは、身体のねじれや崩れといった「患者の動きに対する弊害（変形や拘縮の原因）」を避けるためです。自然で無理のない体軸の流れを整えることが、安楽につながります。



枕を入れた後、体軸に捻じれや無理がないか確認しましょう